

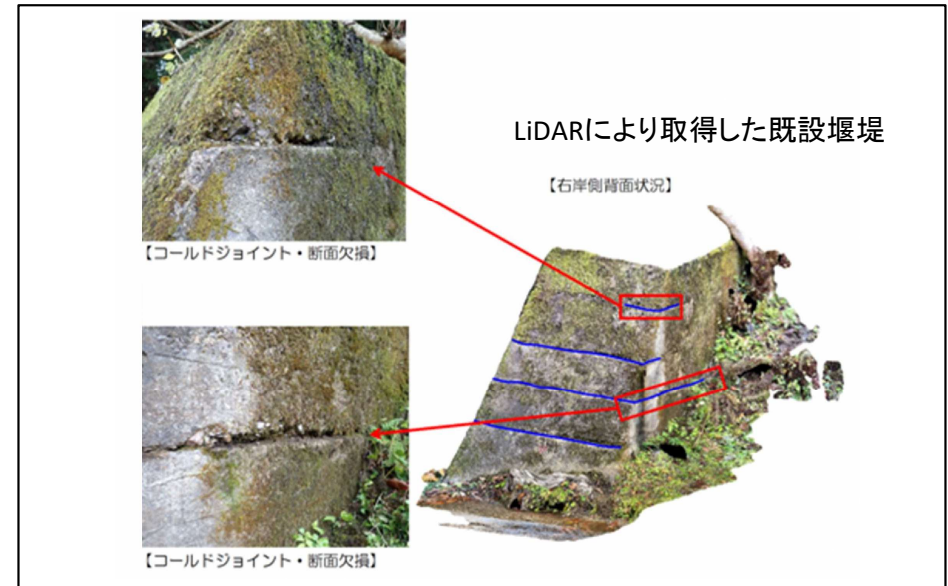
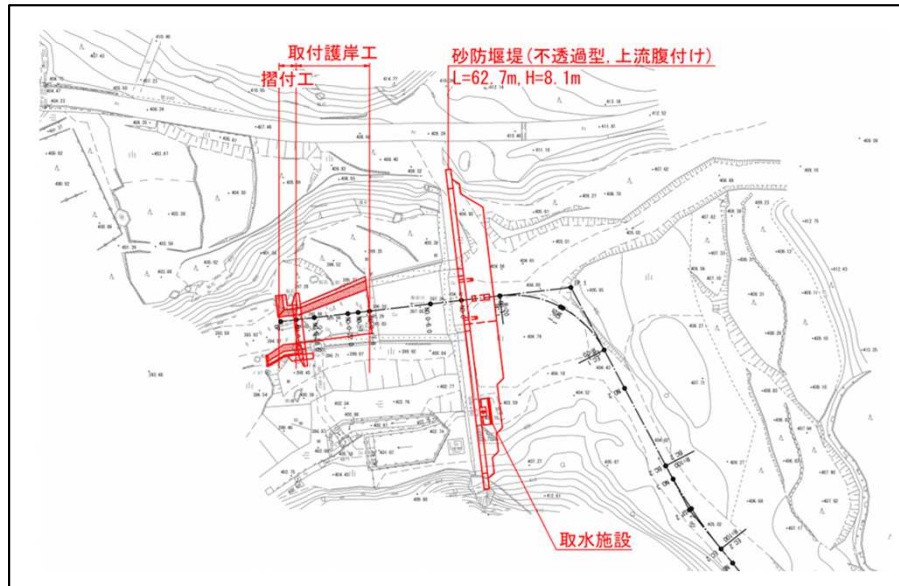
令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名: 呑谷川大規模更新砂防工事「測量設計及び地質調査業務委託」

受託者: アサヒコンサルタント株式会社

管理技術者: 鈴木健雄



- 委託場所: 鳥取市佐治町尾際
- 工期: 令和4年9月～令和6年3月
- 委託概要: 本業務は、計画規模の土石流に対して損傷する恐れがある呑谷川既設堰堤において、現行基準に適合した施設に改築することを目的として、既設堰堤を調査・評価し、詳細設計を実施したものである。
- 委託金額: 22,818,400円



管理技術者
鈴木健雄 (54歳)

(コメント)

既設堰堤の改築については、改築および補修の方針を整理し、施工性・経済性・既存施設への影響等、多面的な視点から総合的に評価し、計画を立案しました。既設堰堤の補修については、LiDAR(光による検知と測距)技術を活用して、現地作業の効率化や変状状況の正確な記録、補修数量計上の精度向上を図りました。

大規模災害が頻発化する中において、地域の方々が安心・安全に暮らすことのできる社会資本整備の実現に向けて精進を重ねてまいります。

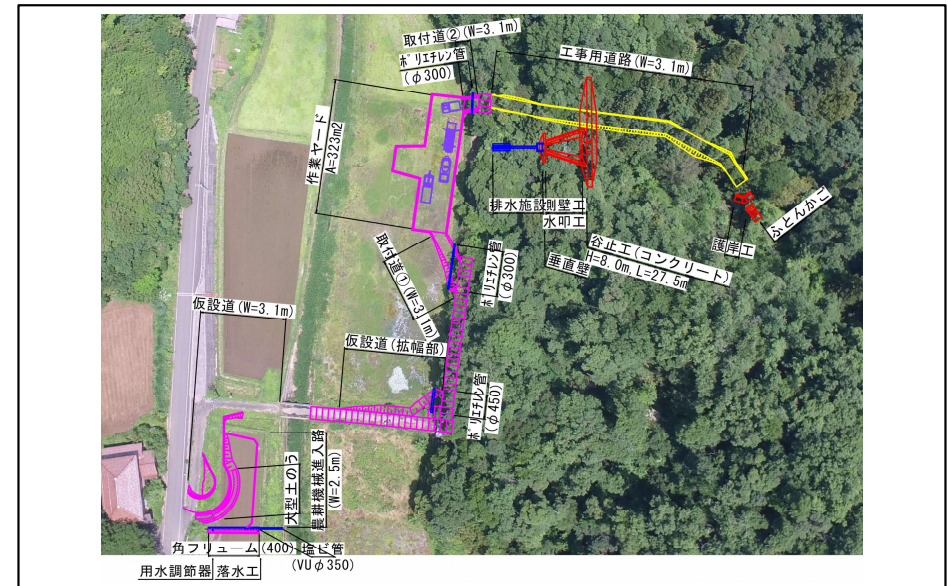
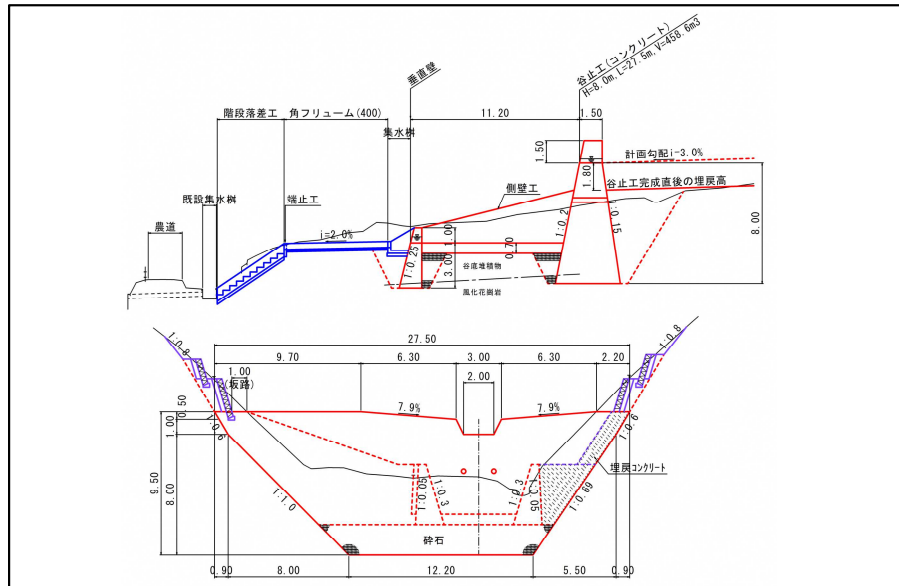
令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名: 露谷地区予防治山工事「詳細設計及び調査業務委託」

受託者: 株式会社ジーアイシー

管理技術者: 三浦正幸



- 委託場所: 鳥取市青谷町露谷
- 工期: 令和5年5月24日～令和6年3月15日
- 委託概要: 本業務は、溪流内の溪岸侵食の進行及び不安定土砂の堆積に対して、溪間工と前庭保護工により溪岸の侵食防止を図ると共に、不安定土砂の移動を防ぐ目的で、詳細設計及び調査を実施したものである。
- 委託金額: 11,900,900円



管理技術者
三浦正幸 (52歳)

(コメント)

当該業務は、台風7号(令和5年8月)被災対応との並行作業で工期内完了が条件でした。

治山ダム計画、農道を拡幅した仮設道計画に対する地元関係者への説明がポイントとなると踏まえ、

- ① 用排水系統、農地整備時状況及び利用状況の聞き取り調査の実施
 - ② ドローンにより撮影した全景写真及び使用する機械、材料の写真を用いた説明
 - ③ 施工中の耕作に関する要望への対応案の提案により、早く理解していただき円滑に業務を進めることができました。
- 今後も、発注者、地元住民と協力し、地域の安全及び発展に貢献できるよう、努めていきたいです。

令和5年度優良業務

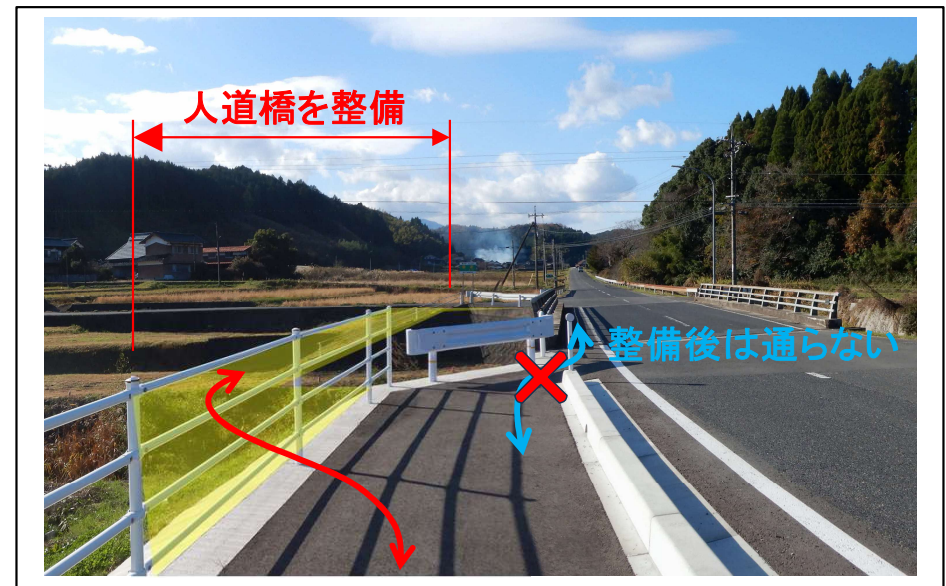
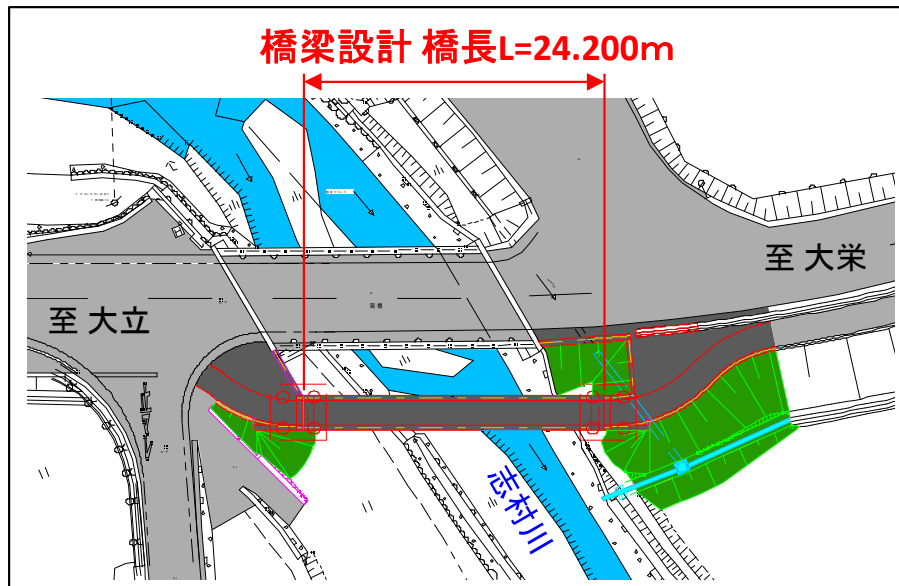
(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名: 県道上大立大栄線(横手工区)改良工事

「測量及び橋梁詳細設計業務委託」(補助交安)

受託者: 西谷技術コンサルタント株式会社

管理技術者: 山本 和也



■委託場所: 倉吉市 大立

■工期: 令和4年7月5日 ~ 令和6年3月15日

■委託概要: 本業務は、交通安全対策として歩道設置が進められている上大立大栄線と志村川との交差部への歩道橋(人道橋)設置を目的に測量及び橋梁詳細設計を実施したものである。

■委託金額: 23,450,900円

◆苦労した点など

- ・橋梁を計画する場所は志村川との交差や県道と市道との交差点に近接している等の制約条件があり、洪水への対策や橋梁を支持させる地盤の悪さ、施工方法など解決すべき問題が多数ありました。
- ・問題を解決するため、河川管理者と対策について事前に協議を実施、施工業者へのヒアリングの実施、追加地盤調査の提案等を実施し検討精度向上を図りました。

どの業務でも悩むことはありますが、多数の方にご協力いただきこの橋も設計することができました。今後も精進していきたいです。

担当技術者 佐々木淳

令和5年度優良業務

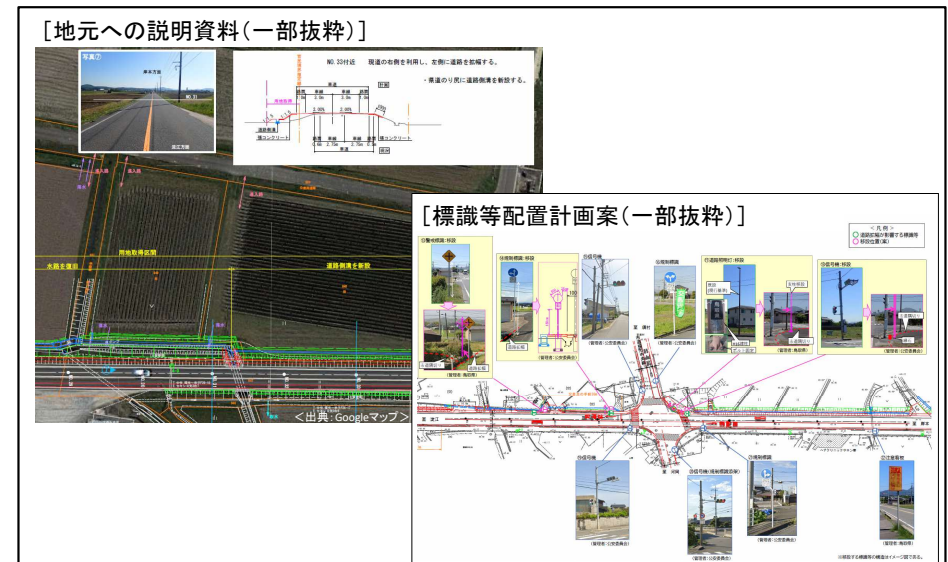
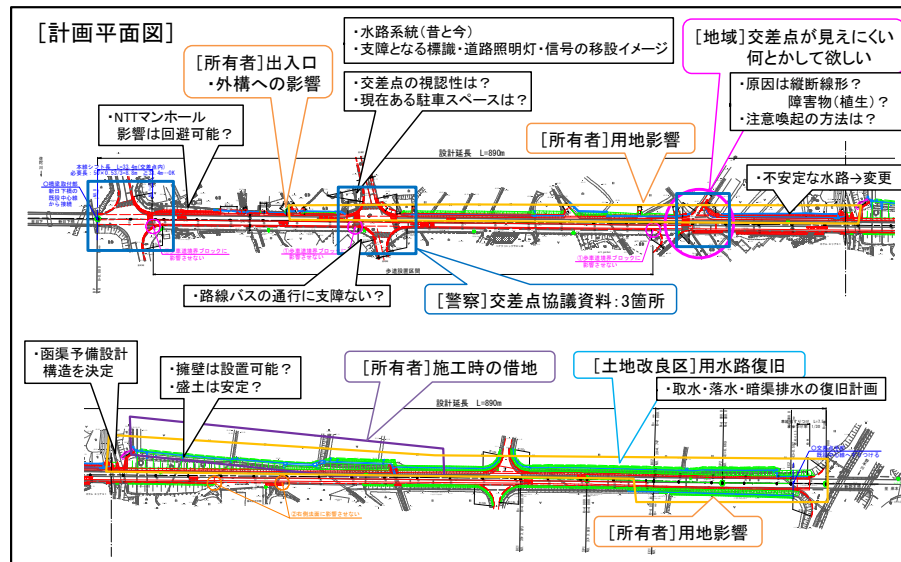
(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名: 県道淀江岸本線(福万～石州府工区)改良工事

「測量設計業務委託」(防災安全交付金)(国補正)

受託者: シンワ技研コンサルタント株式会社

管理技術者: 天沼 由記子



- 委託場所: 鳥取県米子市福万～石州府
- 工期: 令和5年3月28日～令和6年3月26日
- 委託概要: 本業務は、県道淀江岸本線(福万～石州府)において、交通量に対して現道の幅員が道路構造令の基準を満たしていないことから、交通の円滑化及び事故防止対策として道路改良(現道拡幅)設計を行ったものである。
- 委託金額: 22,825,000円

【創意工夫した点】

本業務の起点側には既に歩道が設置され家屋や店舗が隣接し、終点側は高低差がある農耕地区間が存在しました。起点側区間では、交通安全対策と家屋外構への影響、終点側区間では盛土の安全性や用水路の機能復旧など、それぞれの状況に応じ、地域住民に寄り添った計画が求められました。本業務の改良計画の検討・提案内容を、地元住民を始めとする各関係者に理解して頂くため、航空写真と公図、道路計画を重ね合わせた図面など、多角的な視点での資料作成に努めました。これらの資料を用いて関係者に丁寧な説明を行うことにより、業務の円滑な遂行に寄与しました。

また、台風7号豪雨災害の対応を行いながら、工期が迫る中で、地元協議の結果を受けて方針転換が生じましたが、社内体制を再構築し、地元住民・土地改良区・警察等関係者から合意を得た計画を工期内に策定し納めることができました。

【コメント】

今までの経験や知識、会社全体の専門技術を駆使し、発注者の皆さんと共に、地域の方々の想いを汲んだ、より安全・安心な道路を提案できるよう、これからも取り組んでいきたいです！

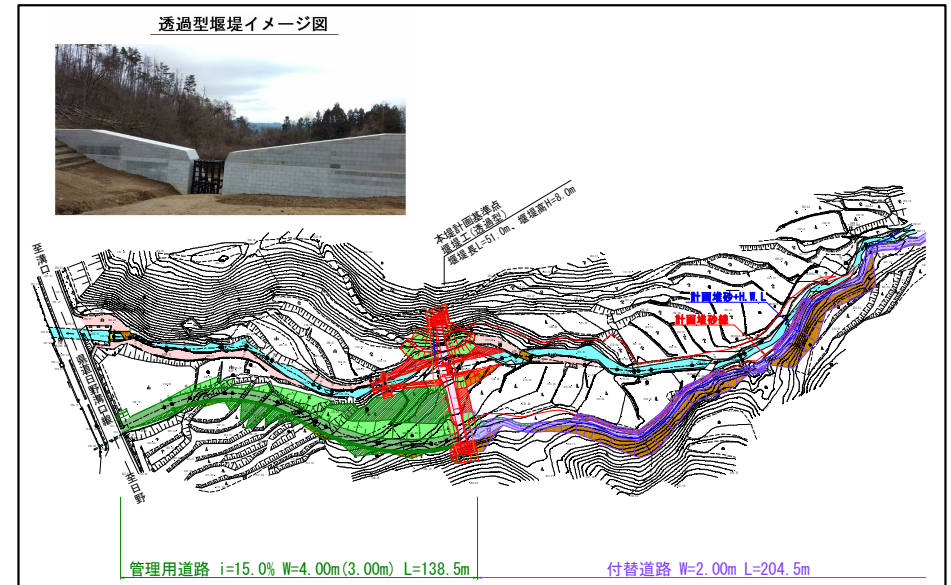
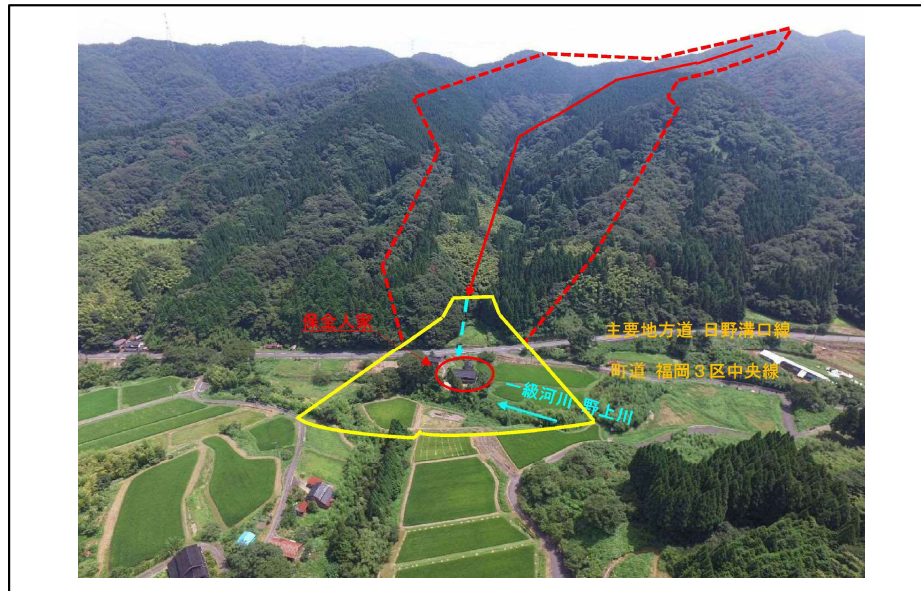
令和5年度優良業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名: 上代支川1砂防えん堤工事「測量調査設計業務委託」(国補正)

受託者: 株式会社 エース・プラン

管理技術者: 有嶋良明



- 委託場所: 西伯郡 伯耆町 福岡
- 工期: 令和5年2月28日～令和6年3月25日
- 委託概要: 本業務は、土石流危険渓流内において、保全対象の安全を確保することを目的に砂防堰堤の測量・地質調査・詳細設計を実施したものである。

■ 委託金額: 23,867,800円

◇業務に当たった問題点・解決策・工夫した点

・予備設計における堰堤最適位置は、平面地形(DMデータ)と現地ポイント横断データで比較検討し決定され、地元関係者への説明がなされていました。

本詳細設計着手時において「鳥取県砂防技術指針改定版」により、数値基準が定められたため、計画流出量(土砂量、流木量)等の計画諸元の見直しを行い、より精度を高めた検討を実施するため、平面地形(LPデータ)を使用した堰堤位置の再検証を行いました。

施工性・経済性等の観点より最下流位置の検討も行いましたが、最終的に地元関係者等の意見も踏まえ、予備設計の最適位置にて詳細設計をとりまとめました。

◇コメント

・無機質なAI技術が進む中、地元関係者を含む皆様と従来の「人と人の温もり」のあるコミュニケーションを大切にしながら、鳥取県のインフラ整備において県民の安心・安全で快適な「ものづくり」に今後も励んでいきたいと思います。

管理技術者 有嶋良明